

# 営農情報

第109号平成23年7月21日発行

(水 稲)

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 1 水管理

- (1) 7月15日調査では、水稻の茎数はほぼ平年並みとなっています。1株あたりの茎数が20本になり次第、中干しに入ります。6月20日田植では7月25日前後が目安となります。中干しの程度は、足跡が軽く付く程度まで行います。白く乾かないようにしましょう。
- (2) 中干し後は、間断かん水を行います。
- (3) その後穂ばらみ～穂揃期にかけては、最も水分が必要な時期ですので水を保ちます。
- (4) 高温障害回避のため、出穂後20日間程度はかけ流しを行い、温度を下げます。

## 2 病害虫防除

現在のところ、ウンカ類の飛来は少なく、病害虫の発生量は少ない状況です。

① 田回りをして、害虫の発生が多い場合は、下記のとおり補正防除を行います。

品種	防除時期	薬剤	使用量
全品種	8月上～中旬	アプロードロムダンモンカットF粉剤DL	4kg/10a
		アプロードロムダンモンカットエアー	750倍

注) ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行ってください。

② 出穂前～出穂期の基本防除は、以下の日程で行います。

品 種	防除時期	薬 剤	使用量
元気つくし	8月18～25 日頃	ビームトレモンセレン粉剤DL	4kg/10a
ヒノヒカリ	8月25～31 日頃		
あきさやか ヒヨクモチ	9月1日～ 8日頃	ブラシンフロアブル	1000倍
		トレボン乳剤	2000倍
		モンカットフロアブル	1000倍

3剤混用

## 3 穂肥

穂肥時期の目安と施用量は以下のとおりです。それぞれのほ場で幼穂長や葉色を観察し、穂肥時期や量を決定します。

品種	第1回目穂肥施用時		10a当たり施用量(kg)	
	穂肥時期の目安	幼穂長 (mm)	1回目	2回目
元気つくし	8/4頃	3～5	15	10
ヒノヒカリ	8/11頃	3～5	20	なし
あきさやか	8/17頃	3～5	20	10
ヒヨクモチ	8/17頃	2～3	25	20

※ 穂肥2回目は、1回目の1週間後に施します。